

マネジメントコース研修生のつぶやき

編集者注：このコンテンツは、マネジメントコース（※）の研修生が持ち回りで担当し、それぞれの所感等を述べたものです。

※ 地方自治体職員が、自治大学校の実務や、研修（第1部課程等）の履修によって、実践的に高度の政策形成能力及び行政管理能力の向上を図るもの。

マネジメントコース研修生（以下、自治大学校内における通称「特研生」と表現します。）として自治大学校へ派遣されてから、もうすぐ1年が経過しようとしています。

着任してからというもの、最初の1か月間で自治大学校が研修生のためにどのような仕事をしているのかに触れ、少し慣れてきたと思ったら今度はすぐに第1部課程の研修生として研修を受講する日々が始まり、研修を無事修了したかと思えば今度は研修運営担当として慌ただしくも充実した日々を追われ、研修運営を終えた後は教材作成という重要ミッションの遂行に勤しんできました。気づけば、あっという間に所属自治体に戻る時期となってしまう少し寂しさもありますが、この約1年間で（実感はまだありませんが、きっと）成長できた自分が、これからどのように所属自治体の力になることができるのか、今からわくわくしています。

さて、これまで自治大便りの担当者として、他の特研生に執筆を催促してきた私ですが、いざ自分の番となると何を書いたものかと悩みました（これまでプレッシャーをかけてきたことを後悔しています）。

自治大学校での業務内容や研修内容、東京での生活など、あらゆる話題が他の特研生に書き尽くされているな…とお気に入りの店でラーメンをすすりながら考えた結果、「派遣決定時に不安に思っていたことベスト3は、実際のところどうだったのか」というお題にしよう決めました。これでも他の特研生とテーマがやや被っていますが、ご容赦ください。

不安第3位 金銭が湯水のごとく消えていきそう

これについては、「いきなり解決になっていないじゃないか！」と言われてしまうかもしれませんが、正直何とも言えません。外で飲み歩くのが好きな方でしたら、正直お金は湯水どころかジェットエンジンの燃料のように消えていくと思います（噂では4か月の研修期間で自動車1台が買えるお金を費消された方がいるとか…）。

私自身はというと、お酒が好きで毎日のように飲んではいましたが、あまり外では飲まずに所属自治体に送っていただいた差し入れを談話室で楽しんでいたので、そこまで財布へのダメージは大きくありませんでした。休日も研修生同期と某テーマパークや競馬場、野球観戦へ繰り出すなど、特段引きこもっていたわけではありませんが、そこまで金銭的に負担を感じるようなことはなかったように感じています。要は過ごし方次第です。

不安第2位 総務省の人って賢くて怖そう

これは半分正解で半分不正解でした。もちろん“賢くて”が正解で、“怖そう”が不正解です（付度しているわけではありません）。

仕事の進め方や物事の考え方など、さすが総務省の方だと感嘆することが何度もあり、本当に勉強になったと感じています。職場に帰ってから、早速活かせるものは活かしていきたい考えです。

一方、怖いという感情は全くなく、むしろとても気さくに接していただけて楽しく1年間を過ごすことができました。東京名物を教えていただいたり、時にはおすすめのお店でご一緒させていただいたり、有意義な時間を送ることができて感謝の気持ちでいっぱいです。

不安第1位 実際業務って何するの？どうせ難しいことするんでしょ？

これまで所属自治体でどのような業務をしてきたかにもよりますが、企画立案したものを上司に相談した上で決定していくので、基本的な仕事の進め方は同じです。分からないことや困ったことは、いつでも親身になって相談に乗ってくださるので、全く心配する必要はありません（時々、総務省用語(?)が飛び交い「…？」となることはありますが笑）。

また、活発に意見を言うことができる環境にあるので、改善すべきことなどは積極的に提案し、フィードバックを受ける中で自身の成長につなげていくことができ、とても勉強になります。業務内容にしっかり密度があるので、自分自身のレベルアップにしっかりつなげていけることが魅力の1つです。

というわけで、総じて不安は杞憂に終わりました。私のこのつぶやきが、令和8年度特研生の皆様のお役に立つのであれば幸いです。

最後になりますが、職員を1年間派遣するという事は、昨今の人材不足に鑑みれば、どの自治体にとっても非常に大変なことであるかと思えます。改めて、派遣していただいた所属自治体に感謝申し上げます。「自治体へ行くチャンスがあるけれど、どうしようか悩んでいる」という方がいらっしゃれば、是非とも参加されることをおすすめしたいです。

そして、研修生（特研生）を派遣しようかどうか悩まれている自治体の人事担当者様に、職員がレベルアップするとともにネットワークを形成するための戦略的な投資として、是非とも自治体へ職員派遣されることをお願い申し上げます、つぶやきの結びとさせていただきます。



徒歩で行ける昭和記念公園のチューリップガーデン（4月がちょうど見頃）